

満月の夜開く



けいはんな哲学カフェ「ゲーテの会」

昔から祭りは満月の夜に開かれてきました。“けいはんな哲学カフェ「ゲーテの会」“は、そんな満月の夜に「文明の未来と人類の幸福」について考える会です。高等研の庭にはゲーテの胸像があります。その視線は「フクシマ」のほうを見やりつつ、近代文明の現状を憂いているかのようにではありませんか。

けいはんな学研都市の建設理念は、「従来の近代科学技術文明を乗り越え、新たな地球文明を創造するために、西欧が生み出した文明の成果と自らに固有の東洋的文化を総合する」ことにあります。ゲーテの胸像はその理念のシンボルです。今宵、ゲーテに立ち返りながら、近代科学文明のあり方を一緒に再考してみませんか。

(2013年8月21日開催の発足会案内より抜粋)

日時 2014年 **3月17日** (月) 18:00~20:30

場所 公益財団法人国際高等研究所 コミュニティホール・庭園

講演 近代科学をいかにして超えるか—自然と人間との関係性を考える— (Part IV)

合理的な神秘主義

～命を破壊する暴力についての厳密な学の構想～

講師： **安富 歩** 先生

【講演要旨】20世紀は「計算」が「論理」にとってかわる時代であった。そのなかで理性の限界は、ますます顕となった。原発事故もまたその一例に過ぎない。「もちろん語りえぬものはある。それは自ら表れる。それが神秘である。」「語りえぬものについて人は、沈黙せねばならない。」というヴィットゲンシュタイン(Wittgenstein)の言葉を真剣に受け止めるなら、神秘を明らかにしようとする冒険を放棄し、神秘的な生きる力を破壊するものを、厳密に解明し、それを除去する方法を明らかにすべきである。このような学問のあり方は、仏教・儒教・道教などの東アジアの伝統に合致する。キリスト教を背景とする近代科学とは異なった宗教的基盤の上に、新しい厳密な学を再構築することが、人類の知識をより客観化し、現代の危機を切り開く智慧を生み出す道であると考え。これらの考えについてご紹介し、かつ皆様と議論したい。

【講師略歴】1963年生まれ。1997年、京都大学にて博士(経済学)を取得。2009年より東京大学東洋文化研究所教授。現在、専門はない。著書に、『合理的な神秘主義—生きるための思想史』(青灯社)、共著『親鸞ルネサンス 他力による自立』、『原発危機と「東大話法」』(明石書店)、『生きるための論語』(ちくま新書)、『経済学の船出』(NTT出版)、共編著『「満洲」の成立』(名古屋大学出版会)、『貨幣の複雑性』『「満洲国」の金融』(創文社)などがある。

参加費 **1,000円** (講演終了後の交流・懇談会費用を含む)

定員 **40名** (先着順)

申込 「参加申込書」(裏面)によりお願いいたします

主催：公益財団法人国際高等研究所
満月の夜開くけいはんな哲学カフェ「ゲーテの会」(略称：けいはんな「ゲーテの会」)

後援：木津川市(予定)、精華町(予定)

協力：ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川、ドイツ連邦共和国総領事館(予定)

事務局：公益財団法人国際高等研究所事業部(担当 竹島)

 公益財団法人
国際高等研究所
International Institute for Advanced Studies

参加申込書

- 下記に必要事項を記入して、FAX 又は郵送でお申し込みください。
- E-mail でのお申し込みの場合は、以下の内容を記載してお申し込みください。
- なお、申込書記載の個人情報は、当会の開催ご案内等を行うために使用させていただきますが、外部に公開することはありません。

◆ お問い合わせ、お申し込み先 ◆

〒619-0225 京都府木津川市木津川台9丁目3番地
 公益財団法人国際高等研究所 事業部
 けいはんな「ゲーテの会」事務局 (担当：竹島)
 E-mail : goethe0828@iias.or.jp FAX : 0774-73-4005

満月の夜開く けいはんな哲学カフェ 「ゲーテの会」 第8回 2014年3月17日(月)開催	
お名前	
ご所属	
部 署	
役 職	
連絡先	ご住所
	TEL FAX :
	E-mail

■ 会場案内

